別海町立野付小学校　学校便り

三角帆

◆発行責任者　校長　青坂信司

◆発　行　日　平成２４年１２月２１日

平成２４年度学校テーマ「学び続ける学校」　第１５号

※睡眠不足は、子どもの脳に深刻なダメージを与えます。冬休み中も生活リズムを大切に！

野付の子、大活躍中です

校長　青坂　信司

◆野付の子、１１月、１２月は大活躍でした。さまざまな大会やコンクールで入賞を果たしました。全道規模のコンクール「第１８回道新私とぼくの小学生新聞グランプリ」で６名の子達、「海の子作品展」では習字の部で２名の子、札幌本店送付作品は図画の部・習字の部合わせて１２名の子達、出光の絵画コンクールでは２名の子が入賞を果たしました。

◆「第５３回別海町芸術文化祭児童生徒作品展」では、習字の部・工作の部・手芸の部・絵画の部で合わせて１７名もの子供たちが入賞いたしました。

◆全校児童の約３割もの子ども達が何らかの賞に輝きました。

◆１２月４日、別海町役場で今年度の「別海町文化功労者・別海町スポーツ功労者」の表彰式がありました。５年生の山口大飛君は、スケートにおける大活躍が認められ、「別海町優秀選手賞」をいただきました。

◆１２月１６日、親守詩コンクール中標津地区大会表彰式がありました。野付小からは２名の子が入賞しています。親守詩（おやもりうた）というのは、子どもが五・七・五で、親が七・七で「感謝」と「親心」を表現した親子の「キャッチボール短歌」だそうです。

◆入賞した２名の子。ご家族で出席していました。表彰式で作品も発表されます。私もその場に居合わせましたが、どの作品も感動しました。涙ぐんでいるお母さん、おばあちゃんもいました。さて、優秀賞をいただいた１年生髙木響君の作品です。

（子）おかあさん　ああおかあさん　だいすきだ

（親）おかあさんもよ　ぎゅってしたい

なんと愛情あふれる作品でしょうか。響君が、まず「おかあさん」とよびかけ「ああおかあさん」とつないでいます。その「ああ」という言葉に心からの母親への思いが込められています。そして、子どもらしい素直な表現としての「だいすきだ」と締めます。その我が子の上の句を受けて、お母さんがまた何とも素敵な句で答えます。「ぎゅってしたい」「ぎゅっと」ではなく、「ぎゅって」と表現することで母親としての愛情だけでなく、やさしさも表現されています。

◆もう一人の入賞者１年生加藤太一君の作品です。

（子）おかあさん　いつもほっぺ　あったかい

（親）カイロがわりに　つかっていいよ

これも素晴らしい詩ですね。

◆明日から冬休み、家族のふれあいを大切にした有意義な時を過ごしてくださる事を祈っています。よいお年を！

※子どもの健全育成は「早寝、早起き、朝ご飯。テレビを止めて外遊び」から